

言語コミュニケーションにおける階層性と意図共有の統合 ～人間性の進化的理解へ向けて～

Integration of Hierarchy and Intention Sharing in Linguistic Communication: Toward Evolutionary Understanding of Human Nature

橋本 敬^a, 小林 春美^b, 岡ノ谷 一夫^c

Takashi Hashimoto, Harumi Kobayashi, Kazuo Okanoya

^a北陸先端科学技術大学院大学, ^b東京電機大学, ^c東京大学

Japan Advanced Institute of Science and Technology, Tokyo Denki University, University of Tokyo

hash@jaist.ac.jp, h-koba@mail.dendai.ac.jp, cokanoya@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

概要

階層的に構造化された記号列により複合的概念を構築し他者と意図を共有する言語コミュニケーションは人間の本性のひとつである。階層性と意図共有の出現と統合を言語の起源・進化の重要問題と捉える共創言語進化学 (<http://evolvinguistics.net>) では、この統合により累積的な概念構築が可能になったと考える。本 OS では、階層性と意図共有の統合に至る生物進化、およびその統合による言語とコミュニケーションの構造・形態の文化進化という進化的観点から、人間性の本質に迫る議論を行う。

キーワード：言語起源(Origin of Language), 言語進化(Evolution of language), 階層性(Hierarchy), 意図共有(Intention Sharing), 共創言語進化学(Evolinguistics)

1. はじめに

人間の言語コミュニケーションは、階層的に構造化された記号列により複合的概念を構築し、他者と意図を共有するという特性を持つ。ここでは、階層性を「要素のまとまりが新たな機能を実現し、さらに、それら（＝要素のまとまり）のまとまりがより上位の機能を実現すること」、そして、意図共有を「相手が実現したい状態を理解し、自分もそれを実現しようすること」と暫定的に定義する。

階層的に構造化された記号列による複合的概念構築は、たとえば unlockable という単語に端的に表れる。この単語を unlock + able と考えると「解錠可能」、un+lockable とすると「施錠不可能」という異なる意味になる。解釈する側からは、これは{{un, lock}, able}か{un, {lock, able}}のどちらの階層構造と見るかによるが、発する側は lock に un (否定), able (可能) を合わせて複合的概念を作っている。これは複数の単語で文を作る場合でも同様である。すなわち、言語を用いることは複合的で複雑な概念を階層的に構築していることになる。

意図共有の端的な例は「醤油取れる？」という発話である。これは字義通りには「醤油を取る能力があるか」という質問だが、通常そのようには解釈されない。この発話を受けた人は「醤油を取って渡して欲しい」という言外にある話者の意図を理解し、それに添って行動するだろう。すなわち話者の意図は聞き手と共有される。実際には指差しや視線によっても意図を共有できる場合が多く、意図共有は言語というよりコミュニケーション全般の問題である。だが、言語によって複雑な意図を伝達できるという点が人間の言語コミュニケーションを特徴づけている。

階層性と意図共有が合わさって言語コミュニケーションを実現させていることは、一種の人間の本性であろう。その解明は認知科学にとっても課題であり、両者はそれぞれ様々な観点から研究されて来たが、両者の統合的理解にはまだ課題がある。たとえば、人間は自他の心の入れ子構造をある程度の深さまで理解できるが、言語の階層性によって心の入れ子構造が理解可能になるのか、あるいは、後者の理解が前者を可能にしたのかも未解明である。

階層性と意図共有がいかに現れヒトにおいて統合されたかを言語の起源・進化の最重要問題と捉える共創言語進化学 (<http://evolvinguistics.net>) では、この統合により累積的な概念構築すなわち共創が可能になったと考える。本 OS では、階層性 and/or 意図共有の研究に関わる、または興味を持つ様々な分野の研究者が、両特性の統合的理解について、自身の研究に基づきつつスペキュレーションも含めて検討する。そして、両特性とその統合に至る生物進化、およびその統合による言語とコミュニケーションの構造・形態の文化進化という進化的観点から、人間性の本質に迫る議論を行う。